



2019年7月10日発行
 特定非営利活動法人
 盛岡YMCA
 〒020-0015
 盛岡市本町通3-1-1
 Tel 019-623-1575
 Fax 019-623-1579
 www.moriokaymca.org
 発行人/ 濱塚 有史
 編集/ 本部事務局

YMCA News



「キャンプが待ち遠しい!!」

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

16 平和と公正な
社会のための



2030年に達成す
べき17の目標
国際開発目標

私がYMCAのイベントに参加したのは1年生の夏、盛岡YMCAの一大イベント「サマーキャンプ」が初めてでした。この頃は小学校に入学したばかりで、周りに上手くなじめず、友達が全然いませんでした。キャンプへ参加するときも、楽しみな気持ちと不安な気持ちが半分半分でした。

出発をしてからのバスの中では、リーダーたちが考えてくれたゲームで盛り上がり、気が付くと、あっという間に田沢湖に着いていました。しかし、田沢湖に着いても、私は気持ちが弱く、すぐにはなじみませんでした。そんな時に当時のリーダーは、私に優しく接してくれました。そのリーダーたちやグループのみんなのおかげで、最初に不安な気持ちを持っていた私の2泊3日は楽しいものとなり、あっという間に過ぎてしまいました。それから私は毎年キャンプへ参加していて、毎年帰ってくると、短かったなとか、もっといたかったなと思っています。

2年生や3年生の時にはキャンプで会ったことのある友だちが少しずつ増えてきて、4年生の時にはいつも学校で一緒にいる友だちもキャンプに来てくれました。

キャンプでの思い出は、朝はこのグループよりも早起きをして、朝ご飯づくりのお手伝いをしました。湖で思いっきり遊んで、みんなでご飯を食べて、夜には寝言も言って、みんなと笑い合い、1年生の時よりも何倍もキャンプを楽しめました。

そのほかにも、2年生の秋に入ったサッカースクール。1か月ごとにやってくるアドベンチャークラブにもたくさん参加しました。サッカーもアドベンチャーもとにかく楽しくて、キャンプと同じようにまた行きたいなと思います。YMCAのキャンプはとっても楽しいです。

まだ行ったことのない人も、一度行ってみると、私と同じように短いなとかまた行きたいなとか思うはずです。

私は今年のキャンプにも参加します。キャンプに行けるのがとても待ち遠しいです。

佐々木光稀 (宮古小学校5年)

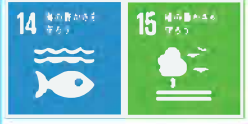


盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

サマーキャンプ2019 ～リーダーより～



今年もやってきたキャンプシーズン!!今年度も盛岡 YMCA サマーキャンプが開催されます。それぞれのリーダーたちの意気込みを聞きました。そして今年はどうなキャンプになるのでしょうか!



～サッカーキャンプ～

こんにちは!夏が大好き、走るの大好き、サッカー大好きなラフです!そんなラフが7月31日～8月3日の4日間に渡って行われるサッカーキャンプのメインを担当します。今回はサッカーキャンプに来てくれるメンバーを紹介し、その魅力を伝えたいと思います!

まずはいわぞん!盛岡YMCA屈指の盛り上げ力を持ったリーダーです。大きな声とお腹でみんなを励ましてくれます。思い切り声を出して熱い試合ができること間違いなしです!次はシュリンプ!良い意味で最もバカになって楽しめるリーダーです。シュリンプの周りからはいつも全力の笑顔や笑い声が飛び交っています。一緒に夢中になって全力でキャンプを楽しめるリーダーです!

お次はサスケ!盛岡YMCAで最も背の高いリーダーです!視野が広く、洞察力が高いので的確なアドバイスをくれます。念願のサッカーキャンプ参戦ということもあり、このキャンプに対する思いは誰よりも強いかも知れません。一緒に4日間のキャンプを楽しみ尽くせること間違いなしです!

続いて、タンタン!抜群のノリの良さを持った最高に面白いフレッシュな一年生リーダーです。潜在能力に溢れており、このキャンプでみんなと関わる中でそれを解放・覚醒させてくれることでしょう。全力で笑って、一緒に思い切り成長できるリーダーです!以上の4名と、みんな大好きジープン&ラフを合わせて6名でサッカーキャンプを盛り上げます。「なんだかサッカーキャンプ楽しそうだな」というみんなの声が聞こえてくるようです。

そして、サッカーキャンプでは、プールに入ったりバーベキューしたりすることもできます。みんなでたくさんサッカーをして、たくさん遊んで、たくさん食べて、たくさん試合をして...。こんなに楽しいキャンプは他にないかもしれません。今、みんなの「ああ、サッカーキャンプに行きたい!!」という声が耳に飛び込んで来ました。なんだかワクワクしてきた人はぜひぜひサッカーキャンプへ!この夏最高の思い出をサッカーキャンプで一緒に作りましょう!

岩手大学3年 笹川大地(ラフ)



～森の大自然キャンプ～

夏だ!森だ!キャンプの季節!!ということで私、トラックから森の大自然満喫キャンプの紹介です!森キャンは8月7日(水)～8日(木)に外山森林公園で行われる1泊2日のキャンプです。外山森林公園に行ったことがありますか?ここは、たくさんの木々に囲まれているため、爽やかな風に吹かれながら、様々な植物や生き物たちと触れ合うことができる場所です。水遊び、セミの鳴き声、カブトムシ...夏と言えば?と言って出てくるものに、この外山森林公園でたくさん出会うことができます。一度行くと、きっとお気に入りの場所になるだろうな、そんな魅力的な場所です。

大自然の中で思いっきり遊んだり、みんなと力を合わせてご飯を作ったり、テントに泊まったり...ガスや電気は便利だけれど、ここでしか得られないかけがえのない何かを手に入れられるはず。セミの鳴き声に負けにくい、みんなの笑い声が森の中に響き渡り、2日間ずっと楽しかった!と感じることができるような素敵なキャンプをみんなで作ってあげたいと思っています。

一人で参加も大丈夫!引っ込み思案の子も大丈夫!自分の思いがまともでない子も大丈夫!キャンプで出会った仲間たちと、自分の気持ちを伝えるチャンスや、受け止めてくれる環境がそこにあります。

この夏の主人公は誰かな!?この夏、この森で、君も主人公にならないか?今年の夏を、森キャンで満喫しよう!みんなに会えることを心から楽しみにしています。

岩手大学4年 齊藤七彩(トラックリーダー)



～島のわくわくキャンプ～

こんにちは!今年の夏は晴れてくれ!島のわくわくキャンプでメインリーダーをつとめます、ピリケンです!

島のわくわくキャンプは、8月9日(金)～12日(月・祝)の3泊4日!盛岡YMCAのサマーキャンプの中で最長のキャンプとなります!場所は休暇村気仙沼大島キャンプ場です!宮城県まで、バスでの長旅となりますが、みんなで歌を歌ったり、ゲームをしたりして盛り上がるので、バスの中からキャンプへのわくわくが止まりません(笑)

島のわくわくキャンプ最大の魅力といえば、やはり海水浴でしょうか!水中ででんぐり返し何回できるか選手権をしたり、波打ち際で波に揉まれたり、砂でナイスバディを作ったり。なんて海で遊ぶのってこんなに楽しいんですよ...

また、3泊4日ということもあり、最終日に近づくにつれて全体で一体となって盛り上がる雰囲気を感じられるようになります!!これも島のわくわくキャンプの魅力ではないでしょうか。グループの枠を超えて、海水浴やパーティタイムの時に、いろんなお友達と遊んだり、他グループのお友達に面白い奴を発見したり...。一昨年の島キャンでは、3日目の夜にお祭りを行いました。グループごとに屋台を開いて、ゲームとご飯を提供するというものになりましたが、それでも私自身とても楽しかったのを覚えています。リーダーの私も、グループの子どもたちと同じ土台・同じ目線になって、ゲームの準備をみんなでしました。子どもたちとの関係が、リーダーに頼られるという関係ではなく、リーダーもグループの一員だよ!とってくれているんじゃないかなという感覚が日に日に増していく感じ...。3泊4日という、島キャンならではの感覚なのかなと思います!今年はどうな子どもたちと、どんなキャンプを一緒に作り上げていくのかとてもわくわくしています!一生の思い出になる楽しいキャンプを一緒に作るメンバー募集中です!! 待ってるよ!

岩手大学4年 尾河芽生(ピリケンリーダー)



～星空満点キャンプ～

今年も夏がやってきました。夏といったら、やっぱりキャンプですね!ということで、岩手大学3年安恒史織(レモン)から、8月4日～6日に、休暇村岩手網張温泉キャンプ場で行う、星空満点キャンプについて紹介させていただきます。

休暇村では、普段の生活の中では見る機会がないような、視界いっぱいの満天の星空を楽しむことができ、他にも澄み切った空気や、みずみずしい木々といった自然もあります。一緒にテントを立て、タオルで汗を拭きながら協力しての炊事、またプログラムなどで友達と全力で遊ぶ。たとえちょっとした失敗だって、笑顔で吹き飛ばしちゃえば楽しさになる!初めての経験も、君となら何でもできそうな気がしちゃう!そんな、わくわくするようなキャンプにしていきたいです。また、自分とは考えや年齢など、違いがある子がいるからこそ楽しくなっちゃう、自分をぶつけて、もっと楽しめるような連鎖を見つけていきたいです。

キャンプで初めて会う子もいるなかで、3日間を一緒に生活していき、色々なことを共に感じとって、お互いを認め合う瞬間を大切にしていって、子どもたちの気づきや成長、新たな一面を感じられる場にしていきたいです。一人じゃない、みんながいるからこそその楽しさのなかで子どもたちも、自分のペースで成長できればと思っています。夜の満天の星空のように、このキャンプでキラキラと光る笑顔でずっと忘れられないような一夏の思い出を一緒に過ごしましょう!君の参加を楽しみに待っているよ!!

岩手大学3年 安恒史織(レモンリーダー)



～宮古キャンプ～

こんにちは!8/6～8に田沢湖キャンプ場で行われる、宮古キャンプのメインリーダーを務めることになった、つくしです!宮古キャンプにはつくしだけではなくたくさんの個性豊かなリーダーが参加するので紹介します!

安定のカメラワークで一瞬の素敵な思い出もカメラに収めてくれるはまちゃん、宮古の活動には絶対に欠かせられないさとちゃん、さのこ?とまと?いろいろな名前とたくさんの素敵な一面を持っているみんな、みんなのご飯まで食べちゃいそうなくらい食いしん坊のアギー、抜群の包容力と愛嬌でみんなを包み込むはっち、地図がないととんでもない所に行っちゃうマップ、あれ?あの有名な野球選手に似てる?オコエ、みんなと一緒に素敵な冒険に出かけたウズウズしているニモ、暑いキャンプも彼がいれば元気満々のうめぼし。

この10名のリーダーと2泊3日過ごすキャンプでは、ご飯作りや寝床の準備など、普段お家の人がやってくれていることを自分でやったり、バスの中でみんなで大騒ぎしたり、湖でみんなで大はしゃぎしたり、森の中でみんなで大冒険したり、普段体験できないワクワクする出来事をいっぱい体験できるよ!

実はつくしは田沢湖でキャンプするのが初めてなんだ!なので、どんな楽しいことが起こるのか、どんな新しい発見ができるのか、とっても楽しみ!!

さあ、宮古キャンプに行ったことがなくて、どんなことをするのだろうか?楽しいのかな?行ってみようかな?と思っている君も、宮古キャンプに行ったことがあって、今年はこのことしたい!みんなと楽しいことをいっぱいしたい!と思っている君も、つくしやリーダー達、宮古の子ども達と一緒に、最高の思い出に残るキャンプをつくらう!!リーダー達みんなで首をながくしてたくさんのお友達の参加を待ってるよ!!

岩手大学3年 鈴木凜奈(つくし)





【 春のアウトドアクッキング♪ 】

こんにちは!5月の野外活動のメインを務めましたトラックです!「春のアウトドアクッキング♪」ということで、当日は、子ども38人、リーダー30人、スタッフ3人の総勢71人で、外山森林公園へ行って参りました。

森のシェフを目指すため、子どもたちは非常にワクワクした顔で、バスの中に乗り込みました。今回のオーダーは、「春の食材を使ったパスタ!」グループごとにどんな味のパスタにしようか、春の食材は何にしようか、森のレシピ集を見ながら、スーパーで買い物をしました。限られた時間の中、1,000円という予算内に収め、いかに「春の食材を使ったパスタ」を作るか、子どもたちの意見が飛び交いました。鼻歌交じりの中、さっそく料理スタート!普段はあまり料理をしたことが無いという子ども、リーダーと一緒に材料を切っていきます。誰が涙出るかな選手権をしながらタマネギを切る子、ミニトマトの中にレタスを入れて個性を出す子など、グループごとに楽しみながら進めていきました。

また、野外炊事ならではの薪割りに、緊張しながらも目を輝かせ、おいしいパスタを作るんだ!と顔を真っ赤にしなが、火付けを頑張っている子どもたちの様子も見ることができました。そしていよいよ、森のパスタのできあがり!「おいしー!!」それぞれのグループから、子どもたちの喜びの音が聞こえ、森の中に響き渡っていました。ちょっと味は薄かったけど、皆で力を合わせて作ったパスタを食べると、心がいっぱいになるような気持ちになりました。

最後は一人一人にコック帽が渡され、見事全員が、森のシェフの称号を得ることができました!今回は、自由に遊ぶ時間を十分取ることができませんでしたが



自ら食材を選び、作る楽しさを知ることができたことは、子どもたちにとって、貴重な体験になったのではないかと思います。ありがとうございます。

岩手大学4年 齊藤七彩(トラックリーダー)



【 チャレンジキャンプ!テントに泊まろう♪ 】

こんにちは!岩手もついに梅雨ですな...ビリケンです!私から、6月のちきゅうと、あそぼう。「チャレンジキャンプ!テントに泊まろう♪」の報告をさせていただきます。

今回の野外活動クラブは、30人の子どもたち、20人のリーダー・スタッフが参加しました。場所は岩手県奥州市の森のキャンプ場です。朝から雨が降っていましたが、子どもたちは元気いっぱいでした!キャンプ場に到着して、まずはグループごとに、テントをたてました。とても上手で、早々にテントをたて終わるグループ、テントカバーを前後反対にかぶせてしまうグループ(笑)、グループの個性がたくさん見られる時間でした!その後、一生懸命たてたテントの中で昼食を食べ、グループの旗づくりを行いました。晩ごはんの野外炊事ではカレーを作りました。

火が消えないように、必死に空気を送るうちわ隊や、トロトロのカレーを目指し、真っ赤な顔になりながら火の番をする子どもたちが見られました。晩ごはんを食べたあとのナイトプログラムでは、グループで協力して、体全身を使ったジェスチャーをするなど、朝よりも協力している様子が見られました。夜中になって雨が強くなりましたが、テントを打ち付ける雨の音を気にすることもなく、みんなぐっすりと眠っていました。

2日目もずっと雨で、朝食後に屋内に移動しました。屋内施設でも、それぞれが楽しそうに遊んでいました。鬼ごっこをしたり、リーダーに一発芸をやらせたり犯人逮捕に奔走する警官官がいたり...2日間とも雨のため外で思いっきり遊ぶという時間は取れませんでした。それを感じさせないくらい自由に思いっきり楽しく過ごすことができたキャンプとなりました。のキャンプで、ますます夏のキャンプが楽しみにになりました!

サマーキャンプでまた会いましょう!



岩手大学 教育学部4年 尾河芽生(ビケン)



【 竹で水鉄砲をつくってあそぼう♪ 】

こんにちは、外で遊ぶのが大好きなラフです!そんなラフがメインを担当した6月のサンデースクールは、なんと本物の竹を使って水鉄砲を作り、みんなで水遊びをするという、とっても楽しい活動でした。最初から最後まで楽しき満点だった活動の様子を、みなさんに紹介したいと思います。

まず、子どもたちの何倍もある長い竹を、一節ずつのこぎりで切っていました。交代しながらグループで協力して、ギョギョと切っていく、のこぎりを使わない子どもたちも、一生懸命竹を抑えたり、切る人を応援したりしていて、グループ丸となって、竹と格闘する姿が見られました。無事竹を切り終えると、子どもたちは切った竹を、嬉しそうに覗き込んだり、耳に当てて音を聴いたりしていました。また、この切った竹に、水が出る穴をキリで開けたのですが、その穴の個数や位置には、それぞれ個性やこだわりがあり、子どもたちの発想の豊かさを強く感じました。

次に、細い竹にスポンジと布を巻きつけ、水を押出す棒を作りました。これを、竹の穴にぴったり合うサイズにしないと、水をうまく吸引・発射することができず、今回の最難関の工程でした。しかし、子どもたちは作業を投げ出すことなく、懸命にスポンジと布の効果的な巻き方や、サイズを模索していました。

そして、ついに完成した水鉄砲を持って、外へ遊びに行きました。子どもたちは、一から自分で作った水鉄砲から、水が発射される喜びを爆発させていました。中にはうまく水が出ない子もいましたが、リーダーと一緒に改良を行い、それがうまくいった時の表情の輝きは、形容しがたいものでした。ほとんどの人が濡れることを一切気にせず、水遊びを存分に楽しんでいました。

作る過程も水遊びの時間も、最高に楽しいサンデースクールでした。これを読んで、なんだかとても楽しそう、行けばよかったなあと、思った方もいるのではないのでしょうか。大丈夫です、まだまだサンデースクールには、魅力的な活動がたくさん残っています!いろいろな経験、思い出をみんなで作っていきましょう!みなさんの参加を、楽しみに待っています!

岩手大学3年 笹川大地(ラフリーダー)

～ユース委員会バーベキュー～



6月16日、中高生を対象にバーベキューパーティを開催しました。あいにくの天気ではありましたが、当日は3名の高校生をはじめ、ボランティアリーダー、ユース委員会メンバー、スタッフ等、総勢18名が集い行うことができました。肉や野菜が焼きあがると、さすがは高校生!という食べっぷりを見せてくれ、沢山用意した食材も、みるみる減っていきました。中にはそれほど肉は食べずに、デザート焼きマシュマロへと移っていく子もいましたが、マシュマロを焼きながら、昔の話や今の話、ちょっとした悩み等を話し合いながら、時間を過ごしていました。

おなかいっぱい食べ、片づけをした後は皆で遊ぶことに!ひとしきり盛り上がり楽しんだ後は、リーダーがもってきたギターを、高校生が弾いてくれました。「オレが弾けるギターとは違うけど...」と言いながらも、最近の曲を演奏していました。そんな時間を過ごしているうちに高校生同士で、「オレこれなら歌えるよ。」「マジ?オレ弾ける!」との話が出て、一人がギターを弾き一人がそれに合わせて歌を歌い、一人がそれを微笑ましく見ながら、途中手拍子で合の手を入れるという、高校生3人によるミニライブが開催されました。照れくさそうに歌ったり演奏したりしながらも、楽しそうな3人の表情が、とても印象的でした。

盛岡YMCAユース委員会では、これからも中高生が気軽に集え、悩みや想いを打ち明けられ、一人ひとりが活き活きできる場を作っていけたらと考えております。

今回のユース委員会の企画は、中高生キャンプ!9月7日、8日、秋田県田沢湖キャンプ場で行います☆中高生のみなさん、是非参加してみてくださいね!きっと、色んな人との出会い、そして、最高に楽しい時間が待っていますよ!

盛岡YMCAユース委員会スタッフ 小川嘉文

～第3回 インターナショナル・チャリティーラン2019～



YMCAインターナショナル・チャリティーランは、障がいのある子どもたちもそうでない子どもたちも共に幸せに生きていける社会を目指して開催されています。

障がいのある子どもたちへの社会的な関心を高める機会として、より多くの方々に参加をしていただき、共に幸せに生きていける社会を目指していければと考えています。

2017年から始まった、盛岡YMCAインターナショナル・チャリティーランですが、参加者も年々増え、運動に賛同いただける社会の力も増えてきています。盛岡の地から、チャリティーランのスローガンである「LOVE ON THE RUN」を合言葉に、ランナーやボランティアとしての参加、経済的なご支援など、思いやりをぜひ形にしてみませんか?

是非、多くの方々のご理解とご支援お待ちしております。よろしくお祈りします!



第3回盛岡YMCAインターナショナル・チャリティーラン2019
日付:2019年9月23日(祝)
場所:岩手県立大学特設コース
時間:8時30分受付開始 9時30分開会式 10時競技開始
競技方法:宣言タイムに近いチームから順位をつける
参加料:1チーム5,000円

盛岡YMCA 浅沼慧

「ヤングマン」

「少年や六十年後の春の如し」

明治33年生まれの人、永田耕衣の作である。岩波新書「折々のうた」で紹介されていた。僕は子どもの頃、60歳と言えば教養と品格を兼ね備え、優しさに満ちあふれているおじいちゃんをイメージしていた。

しかし当の本人がその年齢に近くなって自分を省みてみると全然進歩していないのに気づく。些細なことでイライラしたり、他者の成功を喜ぶというより、「くそっ!!」と思ったり、逆にその人の失敗を目の当たりにすると「それ、見たことか!!」という気持ちになったりする。全くもってなっていないのである。全然成長しないまま、あつという間に年だけとったように思えてくる。

若い世代に伝えたいことは、(あくまで僕の独断ではあるが...)「大人なんてたいしたことない。」ということだ。若者と同じように60になっても、70, 80になっても人は揺らぎ、惑い、自分を探しながら生きていくのだ。

そんな市井のまったく普通の人たちが世代を超えて同じ土俵に集い、すこしでもこの世界がよくなっていくことを願いながら自分たちのささやかな力を紡いでいく。

そういう人たちのことをYMCAは、「ヤングマン」、青年と呼ぶのだと思う。

神は言われる。終わりの時に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたたちの息子と娘は予言し、若者は幻を見、老人は夢を見る。」(使徒言行録 2章 17節)

盛岡YMCA 総主事 濱塚有史

インドでビリケン・マックスが考えた③



こんにちは!インドで刈り上げた髪も、耳にかけることが出来るくらいまで伸びました、ビリケンです。今回は私から、インドで考えたことをお話しします!さて、先月のYMCAニュースでマックスも言っていた、ストリートチルドレンや下位カーストの人たちについて、ビリケンも少し考えた事があります。バンガロールの町に出かけて、話に聞いていたストリートチルドレンたちを見て、ショックを受けたのは事実ですが、マックスや他のキャンパーほど、心を動かされなかった自分がいました。

詐欺師と思わしきおじさんが、「道案内してあげるよ〜。」とずっと私たちについて回っていたのを、お金を請求されるといけなからと言って、全員で無視しました。それと同じように、ストリートチルドレンや、下位カーストの人たちからの物乞いも、スッと目をそらして無視をしました。

しかし、No moneyと、私の目の前に立って訴えかけてくる、小さい子どもを見た時は、心が本当に痛みました。うわあつらいなあ、...、と思いながらも、また目をそらして無視をし、徐々に平然を装えました。とあるキャンパーが、「ごめん...ごめん...。」と言いながらその子から逃げていましたが、その後こっそり100円玉をあげていました。それを見て、なんて心やさしい人なんだと思いました。無視をすることに、私はごめんという感情を抱くことはなく、つらいなあという、自分のことしか考えてなかったことに気付きました。

拠点であるSCMに戻って、聖書研究の時間に、物乞いの人たちの話をしました。そこで出た話の中に、無視をされると人間として見られていない感覚になる、という話がありました。平然と無視しようというルールを受け入れ、実行出来ていた自分が少し怖かったです。

よく受け入れることが出来たなど、今になって思います。インドでは、下位カーストであっても、それは'生まれ'であるため仕方ない事、貧困では無いと考えられているそうです。インドの人たちが、それを受け入れているように、私も事前学習で見た、無視という選択肢を受け入れていたのかなと思います。

インドに行って、インドの問題や実状をたくさん学んだと同時に、自分を見つめる時間がたくさんありました。その話はまたおいおい...

岩手大学 教育学部4年 尾河芽生(ビリケンリーダー)



表紙の写真から



6月のサンデースクールは「竹で水鉄砲を作ろう!!」。たった1本の竹を切るのに、子ども達やリーダー、いったい何本の手がかかっているでしょう?

感謝
2019年7月2日 現在 在敬 略

●維持会員

伊藤真太郎、伊藤愛美、晴山浩輔、工 悦 子、今野健男、花田 瞳、一戸貞文、鶴丹谷三千代、中島敬泰、家村知佳、押切梓、名古屋恒彦、名古屋理恵、増田隆、川坂保宏、伊藤 信 彦、大関靖二、南原良哉、伊藤真一郎、伊藤みどり、高 稔彦、田村治之、遠藤昌樹、尾張幸久、島隆輔、林辰也、魚住 恵、今松桂子、熊谷大樹、森山日菜乃、森山幹大、光永尚生、北田 仁、北田アユ子、東森聡、人見晃弘、尾形裕一郎、山口貴伸、井上修三、井上優子、井上浩太郎、長岡正彦、高橋友恵、水田賢次、澤田優美、平泉幸子、佐々木理香、藤原祐三、浅沼憲、浅沼美希、若井淳、及川茂夫、阿部深雪

●寄附金

晴山浩輔、工藤悦子、今野健男、今野 聖子、家村知佳、南原良哉、伊藤真一郎、伊藤みどり、田村治之、遠藤昌樹、尾張幸久、今松桂子、熊谷大樹、光永尚生、人見晃弘、及川茂夫

最新情報はこちらでチェックできます!「盛岡YMCA」で検索ください。

ホームページ : <https://www.moriokaymca.org/>

facebook : <https://ja-jp.facebook.com/moriokaymca/>